



キャベツ編

病害虫注意報 2020年7月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期・定植時のおすすめ防除

この時期の防除は、残効の長い粒剤や灌注剤を用いての省力化がおすすめです
は種時おすすめ薬剤 **定植時おすすめ薬剤**

プリンス粒剤

コナガ・ヒマダラノメイカ
20~30g/セル成型育苗トレイ1箱
またはペーパーポット1冊上から均一に散布
は種時~定植前/1回



プレバソフロアブル5

ヨトウムシ・カブラハバチ 100倍 灌注
ネリムシ類 0.5L/セル成型育苗トレイ1箱
またはペーパーポット1冊
ウバ類 500倍 灌注 苗地床 2L/m²

コナガ・ヒマダラノメイカ
アムシ・ハスモンヨトウ 上記両方登録あり



ミネクトデュオ粒剤

1g/株
定植時株元散布 1回
アブラムシ類・コナガ 40g/セル成型育苗トレイ1箱
アザミウマ類・アムシ またはペーパーポット1冊
ヒマダラノメイカ は種覆土後~育苗期後半 1回
20g/セル成型育苗トレイ1箱
ヒマダラノメイカ またはペーパーポット1冊
は種時 1回



注意

ミネクトデュオ粒剤を使用した場合、
下記の薬剤は苗場での使用ができません!!

- ・ベリマークSC
- ・ベネビアOD
- ・アクタラ粒剤5
- ・ジュリボフロアブル
- ・プリロッソ粒剤
- ・アベイル粒剤
- ・アクタラ顆粒水溶剤

コナガなどのチョウ目害虫や
アブラムシ類に効果の高い
ミネクトデュオ粒剤の処理が
おすすめです ※弊社試験結果より



灌注処理剤の上手な使い方

- ・灌注処理は定植3~5日前が最適です
- ・定植数日前に処理して、十分に成分を吸わせることで高い効果を発揮します

粒剤処理2週間前後、または害虫発生時は、適宜散布剤による防除を行ってください

薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	散布可能な葉数
フローバックDF	1,000~2,000倍	前日(発生初期)	-	1.0葉
プレオフロアブル	1,000倍	7日前	2回	子葉
アファーム乳剤	1,000~2,000倍	前日	3回	0.5葉
エルサン乳剤	1,000~2,000倍	14日前	2回	1.0葉

根こぶ病にお困りの方に!

ネビジン 粉剤

根こぶ病

20~30kg/10a 2回
→ は種又は定植前 全面土壌混和
20kg/10a 2回
→ は種又は定植前 作条土壌混和



菌核病

30kg/10a 定植前 全面土壌混和 2回

おすすめ資材 植物本来の力を活性化!

光合成能力UP!

軟弱徒長株を強く! 0-28-26

ファイトオーツ-&エレマックス赤

1,000倍 葉面散布

1,000倍 葉面散布

- ▶ 転流量増加
- ▶ 毛細根の充実
- ▶ 抵抗性誘導物質の向上



- ▶ 樹を締めて徒長防止!
- ▶ 病害抵抗力の向上に!



⚠ アルカリ性農薬、石灰硫黄合剤、アゾキシストロピン剤(アミスター)、クレソキシムメチル剤(ストロビー)、無機銅剤、ホルモン剤、液肥類との混用はさけてください